令和７年３月３０日・山形新聞３０面

多様な性 誰もが自分らしく

米沢東高生、山形新聞Vチューバーとのコラボ動画制作

米沢市の米沢東高（阿部好弘校長）の1、2年生有志が、山形新聞社の公式Vチューバー「久礼奈為めくる」とのコラボ動画を制作した。LGBTQなど性的少数者への理解を呼びかける内容で、同校のインスタグラムと、山形新聞オンラインで公開している。29日には動画制作に関わった生徒らが性の多様性を発信するレインボーパレードを市内で開催した。

▶米沢東高インスタグラム

▶山形新聞オンライン

「久礼奈為めくる」とコラボした動画撮影の一場面　＝今年1月、米沢東高

山形新聞社が学校を対象に「久礼奈為めくる」とのコラボを呼びかけた際、課題探究に取り組む同校のダイバーシティゼミの生徒が手を挙げた。学校生活の紹介のほか、自分たちにとって身近なテーマとしてLGBTQを選び、シナリオなどを考えた。

動画には同校の生徒や教師が出演。自身の性的指向などを理由に、制服やトイレの不自由、友達との恋愛話での疎外感をはじめ、学校生活で感じるさまざまな息苦しさなどを挙げた。サポートした高橋美路教諭（43）は「LGBTQをテーマとすることには一定の勇気が必要だったと思う。生徒が言い出しにくいせりふがあっても、音声を読すVチューバーと連携したことで壁を乗り越えることができた」と振り返る。

理解呼びかけ　一緒に思い伝える

2年山口愛音さん（17）は「みんな同じ人間。LGBTQなどの人を特別視せず、それぞれが自分らしく生きていける社会になればうれしい」、1年佐藤未空さん（16）は「詳しく知らない分野だったが、貴重な経験になった。もし友人から相談を受けたら、しっかり寄り添っていきたい」と話した。

29日のパレードには同校の生徒ら約50人が参加した。伝国の杜から同校まで市街地を練り歩き、多様な性が尊重される社会の実現を訴えた。（斎藤健太）

パレードも

米沢東高生らが市街地を練り歩いたレインボーパレード　＝米沢市丸の内1丁目

学校や部活紹介　コラボしませんか

山形新聞社は「久礼奈為めくる」とコラボし、学校や部活動などの紹介動画を制作、発信する高校などを募集している。問い合わせは山形新聞広告局ビジネス開発戦略部023(666)5121、メールアドレスはbiz@yamagata-np.jp

山形新聞社